

# 三高同窓会 会報

## 会長ご挨拶



雲南会会長  
福間 國夫  
(高校二期卒)

平成十八年は、日本列島各地の異常な豪雪、寒冷の話題で始まりました。

昨年十二月より断続的に降り積もり、全国的に大きな被害を与えていることが連日報道されておりますが、このような話を聞くと、古いことですが、昭和三十八年（一九六三）の山陰豪雪を思い出します。一月に入ってから連日の降雪で、十日過ぎには交通機関は全線不通、孤立集落の続出でした。当時は現在のよう

に除雪機械の配備はなく、全戸全員総出で屋根の雪下ろし、道路の除雪などに何日も従事したことが頭の中をよぎります。防ぎようもない自然の怖さを体感しました。

さて、母校創立八十周年の記念事業を展開するにあたり、関係各位の皆様、殊に雲南会同窓の皆様方には一方ならぬご支援、ご厚情をお寄せいただきありがとうございます。

平成十七年六月十八日母校において盛大に記念式典を挙行することが出来ましたことをご報告申し上げます。本会報が配布される頃には十年史も刊行され、記念事業決算報告もなされ、ご協力いただいた方々に礼状の発送も終え、実行委員会の解散がなされておるものと思えます。事務局の皆様には長期間の労苦に対し深くお礼申し上げます。

また、募金が予定額に到達せず雲南会特別会計より支出を承認していただきましたが、事業の見直し、経費の節減につとめた結果、特別会計より支出は二百万余となる見込みです。今後特別会計の中で運営に差し支えない限度で、校内の施設整備、在校生の福祉のために役員会に諮り有効に執行して行きたいと考えております。

終わりになりましたが、現今少子化の到来で、高校の学級減、引いては存続のことなど取り巻く諸問題が表面化しつつありますが、この雲南の地も例外ではなく、慎重に見守りたいと思えます。

八十年の歴史を刻んだ母校の益々の充実と発展を希求し、会員の皆様のご健勝と、いよいよのご活躍をお祈りいたします。

(十八年一月末日記)

## ご挨拶



校長 景山 寛

平成十八年の元日は好天に恵まれ心も晴れ晴れとする絶好の一日でした。朝五時半起床、暗い中を出雲大社に参拝するのが近年の私の習わしになっていきます。冴えきった寒気の中、大社がライトアップされて暗闇に浮かぶ様は実に神々しくあり、身の引き締まる思いがしました。帰路、夜が白むなか、霧立ち上る斐伊川の風情は清く年の初めに相応しい水墨画でした。伊豆の水面には数十羽の白鳥の群が、元日の朝を寿いでいました。

私の氏神様は高等学校の上にある王氏権現様萱原神社で、お参りする頃は三刀屋川を挟んだ城山は初日の光に染まっています。平成十八年がどうか穏やかで明るい年になりますようにと祈りました。

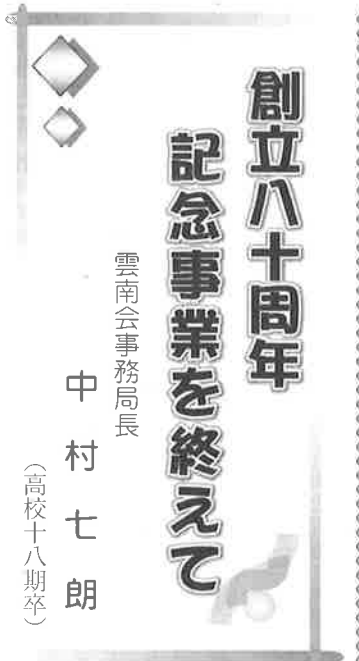
さて、平成十七年八月には、創立八十周年記念式典をたく

さんの同窓生会員のご出席を得て挙行することができました。学校を任されているものとして、また、同窓生の一人として感慨も一入のことでした。たくさんの記念事業を行うことができたのも、同窓生の皆様のご支援があったからこそと厚く感謝申し上げます。平成十六年度から導入された総合学科は二年目を迎え、順調に成果を上げつつあります。一年生で行う職業人講演会やインターンシップなどでは多くの卒業生のお力を借りました。職業に関する認識を深め、勤労観を養い三学期にはライフプランを作成することで人生を見つめます。二年生では上級学校の見学や企業研修を含む研修旅行で東京へ出かけました。目で見て、肌で感じる体験は大いに生徒の職業意識を喚起したことを思います。雲南会東京支部幹事長の天沼勝様(高27期)にはその折りに次年度の研修旅行についての貴重なアドバイスをいただきました。総合学科は順調に育っていますが、今後一層皆様方のご支援をいただきながら充実させていきたいと考えています。

今年度も、賑やかに各支部総会が催されました。東京、大阪を始めとして県内各支部の総会は年一度の会とはいえず、年代を越えた交流と皆様の母校愛を強く感じる一時であり、有り難くそして楽しみに出席させていただきました。昨年もお会いできた方々に今年もお会いできることは、この上もない喜びであると共に私達が活動するための元気の源であります。盛大であった大阪支部総会が縁となつて、秋には阪大病院で活躍中の菊池素子様(高17期)をお招きし、「生命みつめて」と題する講演を頂きました。生徒・教師共々に深い感銘を受けた講演会でした。

八十周年記念の最後の事業である記念誌の編纂が一月に完成し、ご希望の皆様にご送付いたしました。「五十年史」と三冊の「十年史」が本校の歴史を記録したことになります。また、本校の日々の活動につきましては、ホームページを充実させ、随時発信する努力をしています。どうかインターネットで一度「三刀屋高校」と検索してみてください。終わりになりますが、会員の皆様にご活躍いただきますよう健勝でござりますます。

う祈念いたします。また、私たち教職員一同は三刀屋高校が益々発展するために最大の努力を払う所存ですので、今後とも変わりがませずご支援賜りますようお願いいたします。



雲南会事務局長

中村 七郎

(高校十八期卒)

足かけ四年に及んだ八十周年記念事業を皆様方のご支援、ご協力のおかげで無事完遂させることができました。衷心よりお礼を申し上げます。ここに併せて簡単な事業報告をさせていただきます。

平成十四年度、校内校務分掌に初めて「創立八十周年記念事業準備委員会」が設けられ、記念事業に向けて動き始めました。今回の記念事業を遂行するにあつては、従来と異なり、特別な推進組織を作ることになりました。雲南会校内幹事会が中心となつて進めていくことになりました。

(この年は資料の収集、広報活動等に終始しました)

翌平成十五年度に入ると、早々に校内役員会において記念事業の検討を始め、福庭雲南会会長を交えての第一回打合せ会を開いて素案作成に入りました。

その後、PTA総会において保護者へ記念事業の意義を説明し、そして雲南会臨時幹事会、学校後援団体役員会(学校後援会、PTA、体育後援会、雲南会)を開き、それぞれの団体に支援、協力を願いました。

八月八日、第一回記念事業実行委員会が開催され、福庭雲南会会長の実行委員長への就任が承認されて正式に八十周年記念事業に向けての取り組みが始まりました。九月十二日、記念事業の基金準備を話し合うための常任委員会において、十月～十二月を第一回目の募金期間として、全卒業生に対し、一律一口五千円で、同窓会名簿改訂調査と併せて要請することになりました。その後、第二回目からは卒業期別にご覧いただくことが決定されました。

しかしながら、「不況」「リストラ」「会社更生法」……というようなことが毎日のようにニュースに登場するこの時期に、予想したとは言い募金状況はとても厳しいものでした。

十二月二十一日、各卒業期の代表の方にも参加していただいて、募金名簿部会と各期世話人会との合同部会が開かれ、これからはこの合同部会が中心となつて平成十六年六月まで募金事業を進めて行くことが確認されました。

部会終了後、さつそく期別に募金への協力依頼文書が作られ、高校事務局まで届けていただきました。また、対応できない期については、事務局から改めて依頼文書を作成し発送することになりました。

この間、期別で対応していただいたのは、旧制中学から新制高校まで、合わせて二十九期にも上りました。そのおかげで、募金事業を締め切った平成十六年六月時点では当初の目標額には届かなかったものの、なんとか計画縮小すれば事業を遂行できる目処が立つようになりました。

また、学校後援会より五百万円の事業募金寄付を決定して頂いたのは、一月の学校後援会臨時総会の席上でした。

平成十六年六月十五日、雲南会臨時役員会が開かれ、それまで委員長に任にあった福庭会長に代わり、急遽福岡國夫雲南会副会長が会長を務めることになり、それに伴って記念事業実行委員長も兼ねることになりました。

また、募金の若干の不足分を雲南会特別会計より充てるということもこの席上で承認されました。

七月に入り、第二回常任委員会が開催され、これまでの募金状況を勘案した結果、資料のように当初の事業計画を縮小変更して実施したい旨が正式提案され、可決されました。

十二月の常任委員会では吹

奏楽部のハーブに代わる楽器の購入、図書整備、記念館の改修も認められ、さらに町村合併に伴う記念事業実行委員会構成員の変更、平成十七年度に行われる総合学科棟竣工式兼八十周年記念式典の概要も報告、承認されました。

資料

計画変更した創立80周年記念事業についての概略

(H17.12.31現在)

80周年記念事業準備委員会

1. 募金事業結果

1. 卒業生寄付 1,547.2万円
2. 後援会寄付 500.0万円  
(旧三刀屋町、木次町、掛合町、吉田村、頓原町、仁多町、加茂町)
3. 特別寄付 321.5万円  
(企業、旧教職員、現教職員)
4. P T A 積立金 500.0万円
5. 卒業生名簿積立金 (同窓会) 300.0万円
6. 同窓会特別会計より 200.0万円

2. 事業計画

(当初計画)

(計画修正)

- |                  |         |          |
|------------------|---------|----------|
| 1. 部室整備          | 2,700万円 | →1,800万円 |
| 2. ハーブ           | 300万円   | → 50万円   |
| 3. 記念碑           | 50万円    | → 中止     |
| 4. 記念誌発行         | 300万円   | → 250万円  |
| 5. 卒業生名簿発刊 (同窓会) | 300万円   | → 300万円  |
| 6. 記念式典・祝賀会・記念品  | 150万円   | → 180万円  |
| 7. 事務諸経費         | 200万円   | → 480万円  |
| 8. 記念館改修         |         | 300万円    |
| 9. 図書整備          |         | 50万円     |



総合学科棟建設のための記念館の移転工事

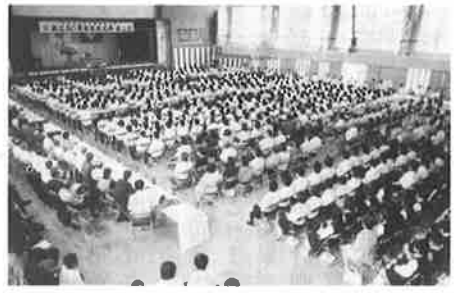


新しくなった玄関前付近



記念事業で建てられた部室

このようにして、記念事業は立ち上げ時の計画からは多少の変更を余儀なくされましたが、それでも年が明けた平成十七年一月には部室が完成し、創立八十周年記念号でもある第三十四号同窓会名簿も刊行されました。さらに六月に記念館改修も終わり、六月十八日には千人を超える参列者を迎えて、盛大に記念式典を開催することができました。ここに、「創立八十周年記念三刀屋高等学校十年史」の中から、記念式典と記念祝賀会についての記事を抜粋し紹介しておきます。



80周年記念式典

『八十年の星霜を経て、平成十七年六月十八日(土曜日)創立八十周年記念式典が、本校体育館で盛大に行われました。

当日は午前九時から雲南会総会が開かれ、その後記念式典が四十分にわたって厳粛に挙行され、十一時から記念講演会がとり行われました。

初夏の陽気な天候に恵まれ、遠くは雲南会東京支部、名古屋支部、大阪支部の代表の出席も得られました。新しく竣工した総合学科棟も含め、施設・設備の充実した母校で、友人や恩師との再会や、先輩と後輩との再会など、和やかな光景が繰り広げられました。

式場正面のステージには、「島根県立三刀屋高等学校、創立80周年記念式典・竣工式」の横断幕がとりつけられ、旧制中学校・高校の二本の校旗も壇上にたてられました。

参列者は、井上裕義島根県教育委員長代理、速水雄一雲南市長、上代義郎県議(県議会議長代理)、他三名の県議、広沢卓嗣島根県教育長、後藤節郎木次土木建築事務所所長、松永賢誕島根県高等学校教育課長をはじめ、各高等学校校長、関係町長、教育長、地元中学校長、地元各団体代表、雲南会、PTA代表などに在校生が加わり、その数は約一千人に及びました。

式典は国歌斉唱に始まり、校長式辞、記念事業実行委員長あいさつ、続いて島根県教育委員長代理のあいさつがあり、総合学科として改編した三刀屋高校に寄せる雲南地域の教育の拠点としての期待を語られました。来賓祝辞では、三刀屋高等学校後援会会長(雲南市長)より次の時代を担う人材の輩出をさらに期待の言葉をいただきました。続いて木次土木建築事務所所長より総合学科棟工事経過報告があり、そして多数の祝詞・祝電の披露、最後に生徒代表、高尾祥平生徒会長があいさつを述べ、式を閉じました。出席者一同には、八十年に

わたる歴史を顧み、将来への思いを新たにしたい機会となったと思います。

式典の後、元全日本女子ソフトボール監督、宇津木妙子氏の「夢と人生」と題する記念講演が行われました。宇津木妙子氏は、元全日本女子ソフトボールの監督として活躍され、シドニーオリンピックで銀メダル、アテネオリンピックで銅メダルを獲得され、その卓越した指導力が高く評価されている方です。

中学校から始めたソフトボールに今日まで携わり、その段階段階で夢を持ち続け、その夢の実現に向けて常に一生懸命の努力をされ、確実に夢をクリアーされていかれました。その体験に基づいた言葉や熱

2005年(平成17年)6月18日(日曜日)

島根県立三刀屋高等学校創立80周年記念式典

80年の歴史に誇りを  
—三刀屋高が創立記念式—

宇津木妙子氏講演

「夢と人生」

島根県立三刀屋高等学校創立80周年  
兼総合学科棟竣工

記念式典6月18日(土) 記念講演会 11:00-12:30(本校体育館)

9:45-10:45(本校体育館)

ごあいさつ

島根県立三刀屋高等学校  
創立80周年記念式典・竣工式  
実行委員会

島根県立三刀屋高等学校  
創立80周年記念式典・竣工式  
実行委員会

い想いに、私達は大きな感銘を覚えました。特に、ソフトボールは、「人と人とのキャッチボールである」と言われた言葉には「人対人」のありよ

うが込められており、厳しさと優しさを兼ね備えられた指導で、いい選手、いいチームづくりが結実したという話に、生き方の大きな示唆を頂きました。

創立八十周年記念祝賀会は、当日午後一時半から三刀屋町文化体育館アスパルで開かれました。この記念祝賀会は準備から運営まで、高校二十六期の卒業生の方々にすべてお世話になりました。

午後一時半、開会に先立って、記念事業の一つである吹奏楽部への楽器購入の披露に合わせて、吹奏楽部による演奏が行われました。そして、二時より、来賓、雲南会会員と教職員など総計三〇〇余名が文化体育館に集い、八十周年の歴史を回顧し、同時に鋭意発展に寄与された先輩諸氏・教職員・関係団体に祝意を表しました。陶山英史氏（高校二十八期）の司会により始まった祝賀会は、新旧の熱気あふれる交流の中、あつという間の二時間が経ち、すべてが滞りなく終了しました。』

その後図書を整備もなされ、翌平成十八年一月には、予定より三ヶ月遅れで「創立八十周年記念三刀屋高等学校十年



▲祝賀会に先立っての吹奏楽部演奏

史」も刊行され、この後二月に実行委員会を開き、総ての事業と会計を報告して承認を受け、四年間に及ぶ記念事業を終了することができました。今回の一連の記念事業に携わる機会を得て、卒業生の方々の母校に寄せる期待感、支援の気持ちの強さを改めて認識することができました。私達はその思いにだけだけ助けられたことでしょうか。関わって頂いた方々お一人おひとりに心よりお礼を申し上げる次第です。次の九十周年はもちろん、いつまでも我が母校が卒業生や地元の人々を始め



旧制中学2期生 大坪併治氏による乾杯風景▶

として沢山の方々にご支援を頂きながら、益々発展していくことを願って筆を置くことにします。

昨年の六月十八日（土）に三刀屋高校創立八十周年記念式典が、多数の来賓の皆様方のご列席を賜り、盛大に催されました。毎年秋の雲南会の総会が、今回この記念式典と兼ねて開催されることになり、一昨年の総会で二十五期の先輩から引継いだ私たち二十六期卒業生で、祝賀会の開催のお世話をさせて頂きました。創立八十周年という節目の、さらには参加人数数百名にもなる祝賀会との大役で私たち二十六期としても大変光栄に思うと共に、相当のプレッシャーもありました。しかし、地元にいる同窓生に声を掛けたところ、快く引受けてくれ当日は四十名余りの参加があり、無事大役を終えることができました。

総会は、記念式典に先立ち、新しく建設された総合学科棟の大講義室で、多数の会員様のご出席により盛大に開催されました。この総会において通常の平成十六年度事業・会

計報告並びに平成十七年度予算審議と共に創立八十周年記念事業についての中間報告もありました。又十七期、二十七日、三十七期生からの特別寄付の報告もあり、今年の担当期である二十七日生への引継ぎで無事終了いたしました。次に、祝賀会は式典終了後、会場をアスパルに移し多数の来賓の皆様方、また恩師の先生方、さらには先輩諸氏のご参加を賜り、総勢三〇〇名余りに及ぶ盛大な会となりました。

祝賀会に先立ち、アトラクションとして、三刀屋高校吹奏楽部による演奏がありました。加山雄三の曲、銭形平次のテーマ曲等、つい口ずさみたくなるような曲の演奏が会場を大いに盛り上げてくれました。

祝賀会は、二十六期代表挨拶、次にPTA会長挨拶、さらに来賓の御祝辞と続き、祝宴は、旧制中学二期卒業の大坪併治様のご発声により始まりました。大坪様は、旧制中

雲南会総会 懇親会 報告

雲南会総会実行委員会  
二十六期代表  
古 林 裕 久

学二期卒業ということは一  
九十歳を越えていらっし  
ると思いますが、その  
豊饒（かくしゃく）とし  
た態度、聡明なご挨拶に  
深い感銘を受けました。

祝賀に入りますとあち  
こちのテーブルで、先輩  
の先輩への挨拶、又仕事  
関係の話、果ては即席の  
ミニ同窓会等が開かれて  
いたり、大いに盛り上  
がっていました。そして  
校歌斉唱、体育後援会長  
による万歳三唱で、二時  
間余りの祝賀会を無事終  
えることができました。

尚、この祝賀会におい  
て十分なおもてなしもで  
きませんでした、盛大  
に盛り上げて頂きました  
皆様方に厚くお礼申し上  
げますと共に、度重なる  
会合、準備等に快く参加  
してくれました二十六期  
の皆様にご心より感謝致  
します。

最後に、三刀屋高等学  
校並びに雲南会の益々の  
発展と会員の皆様方のご  
健勝をお祈り申し上げ、  
報告とさせていただきます。



高26期 卒業生



代表 古林 裕久 様

総合学科 二年目の状況

総合学科企画部長 竹田 茂

総合学科は2期生を迎え、  
新しい歩みが続いています。  
1期生である2年生は、1年  
次にまとめたライフプランに  
したがって、10年後の自分を想  
定しながら進路目標の実現を  
目指して高校生活を送ってい  
ます。

それぞれが目指す進路にし  
たが、高校生の段階で身に  
つけておくべき知識やスキルを  
習得するために、選択科目群  
の中から必要な科目を選択し  
て学習しています。高度な内  
容を扱うものやパソコンや芸  
術など専門性の高い科目を選



2年研修旅行（学校訪問）

択している生徒もいます。

また、今年度初めて実施し  
た行事に東京方面への研修旅  
行があります。これは、単  
なる研修旅行ではなく、職業観  
を育成するための企業訪問や  
大学や専門学校での学習内容を  
知り、学問に対する理解を深  
めるための学校訪問を主な日  
的とするもので、10月3、6  
日の3泊4日の日程で実施し  
ました。



2年研修旅行（国会議事堂）

研修旅行の実施に当たって、  
一学期は研修先についてイン  
ターネットを使って調べたり、  
アポイントメントを取ったり、  
都内の交通機関の事前学習を  
行って研修の本番を迎えまし



1年インターンシップ

た。実際の研修では調べてい  
たことよりもはるかに多くの  
ことが体験できたようです。  
また、人の多さやスピード、  
電車の乗り継ぎにとまどった  
ようです。3日目、劇団四季  
の「ライオンキング」を観劇  
し、最終日デイズニールラン  
ドで一日を過ごし、最終便の飛  
行機に乗り三刀屋にたどり着  
きました。  
研修旅行から帰って早々、  
研修報告をまとめました。多  
くの生徒が「学校では体験で  
きない貴重な経験することが  
できた。」将来に希望を持ち  
勉強に対する意識が変わった  
という」などの感想を持ち、  
高校生活後半の学習の目標を  
立てることに役立てています。  
1年生は、昨年の「産業社  
会と人間」の年間計画に改良  
を加えながら、自分の目標を  
見つけるために学習しました。



1年大学模擬授業

まず5月には、サンレイクでフレッシュマンセミナーを実施しました。2泊3日の宿泊研修で、職業適性検査(R-CAP)の結果と解説を聴き、適性のある職業から興味のあるものや初めて耳にする職業について調べ発表をしました。

以後1学期には、本校を卒業し地元就職された先輩方から進学先での勉強や仕事に就いてからの厳しさ、就職しても勉強を積み重ねているなどの話を聴きました。また、職業や学問について資料やインターネットを使って研究したり、大学や専門学校講師の方々に来校していただき職業説明会や学校・学部・学科の説明を聴いたり模擬授業を受けたりしながら、将来の進路目標を決める参考にしていきます。

10月には2年生が研修旅行



1年大学模擬授業

に出かけている期間に職場体験学習(インターンシップ)を3日間体験しました。将来の目指している職業にそってそれぞれに体験をし、仕事の楽しさや厳しさ、本当に自分に適性があるのかなどを実感することができ、とても貴重な体験をしました。雲南市内各地の企業や事業所の方々には快く生徒を受け入れて頂き、大変お世話になりました。

このように、資料から調べて学ぶことと、学校外の専門の立場の方から生の話を聴くことや、実際に体験することを経り返しながら、生徒たちは将来の自分の姿を単なる夢でなく、実現可能な夢に変えてきています。そして、1年間学んできた「産業社会と人間」のまとめとしてそれぞれが、5年後10年後の自分の姿を思い描いたライフプランとしてまとめ、パソコンを使っ



1年ライフプラン発表会

てプレゼンテーションしました。

2月2日には、講演会やインターンシップでお世話になった方々を来賓に招き、保護者の方も参観していただき、各クラスの代表10名による「ライフプラン発表会」を行いました。来賓の方の講評では、発表態度やパソコンを使ったプレゼンテーションの内容について褒めの言葉をいただいたり、さらなるアドバイスをいただくことができ盛会でした。

このように、総合学科生は、それぞれの10年後の自分の姿を胸に描きながら目標を持って高校生活を送っています。来年度は、総合学科の完成年度に当たります。今後とも、雲南会の会員の皆様方にご支援をお願いします。ご協力の程よろしくお願い致します。

## 進路指導室だより

進路指導部長

柿本 章

して、授業を工夫したり補習時間を増やしたりいろいろと努力を重ねた結果、その成果が徐々に表れて最終的な合格状況は前年度と比べても遜色のない結果となりました。何とかして力を伸ばしてやりたいという学年会を中心とした教員団と、それに素直についていった生徒達の努力の現れだと思っています。

雲南会の皆様方におかれましては、益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。平素は三刀屋高校の教育に對しまして格別のご支援を賜り心より感謝申し上げます。

お陰様で本校生徒は、毎日勉強や部活動に熱心に取り組んでおり、学力面でも成果を上げています。

初めに昨年度の進路状況について触れさせてもらいます。思いおこせば、この学年の生徒達が入学した当初、基礎学力が身につけていない生徒が多く、対外模試の結果も過去の生徒に比べ悲惨なものでした。特に一番肝心な英語の力がなくとも心配したものでした。そこで学年団を中心と

続いて今年度についてですが、表には二月中旬までの状況をまとめています。就職につきましては、若干の景気の回復に伴う求人数の増加もあり順調に希望者全員が内定をもらっています。進学の方の一般入試はこれからになりますが、推薦入試については順調に合格者を出しています。

今年度は普通科最後の学年になります。来年度に繋がる結果が残せるよう残された時間を大切に頑張ってほしいものです。

また、総合学科一、二期生の、一、二年生についてですが、対外模試の成績を見ますと入学時に比べて少しずつではあります成績は伸びてきていると思います。ただ、まだまだ伸びる要素を持っている生徒達です。毎日の授業を通し



てしっかりと鍛えていきたい  
と思っています。

さて、総合学科も二年目を

迎えました。総合学科の大  
きな特徴の一つに「キャリア  
教育の充実」があります。本  
校でもインターンシップや研  
修旅行を始めとして様々な取  
り組みをしていますが、その  
中では多くの卒業生の方々に  
お世話になっています。生徒  
達は「産業社会と人間」や  
「総合的な学習の時間」等の  
キャリア教育の時間を通じて  
様々な体験をし、様々なこと  
を学び、自分の進路について  
深く考えています。個々の生  
徒の進路希望を聞きましても  
以前に比べてより具体的な希  
望を抱いている者が多くなっ  
てきています。

こういったキャリア教育を  
通じて生徒自身が「なぜ自分  
は勉強するのか」といった動  
機づけをし、モチベーション  
を向上させることが、結果的  
に生徒の学習意欲に繋がり、  
夢の実現へと繋がっていくと  
思います。更に在学中だけで  
なく、上級学校卒業後の就職  
活動の際にも大きく関わって  
いくことでしょう。

平成16年度進路（合格）状況

( ) 過年度卒

	国公立大		私立大		国公立短大		私立短大		看護学	医療福祉	福専	各専	種門	補そ	科他	就職		公務員		
	男	女	男	女	男	女	男	女								男	女	男	女	男
合格者 延べ数	20 (1)	13 (2)	56	33 (4)	0	17	2	19	0	5	7	9	24	33	5	5	11	14	4	0
計	33(3)		89(4)		17		21		5	16	57	10	25	4						

と思ひます。後輩達のために  
ぜひご協力をお願いいたしま  
す。

平成17年度進路（合格）状況

平成18年2月17日現在

	国公立大		私立大		国公立短大		私立短大		看護学	医療福祉	福専	各専	種門	補そ	科他	就職		公務員		
	男	女	男	女	男	女	男	女								男	女	男	女	男
合格者 延べ数	9	5	33	7	0	4	0	12	0	2	7	6	17	14	0	0	18	11	2	1
計	14		40		4		12		2	13	31	0	29	3						

部活動トピックス

**弱小演劇部 全国大会へ**  
演劇部  
万年部員不足。注目度0。  
客席はいつもガラガラ。全国  
的にみても有数の弱小校に、  
今年度奇跡が起きた。「中国  
大会最優秀賞」——つまり、今  
「中国地区二百校の中で、今  
年一番面白い芝居をした学校」  
という勲章をいただいたのだ。  
八月、中国代表として全国  
大会に出場する。「全国で一  
番面白い芝居をした学校」を

目指して。そして地元で上演  
する際に、卒業生の皆様にも  
足を運んでいただけるような、  
そんな芝居を作っていきたい。  
顧問 亀尾 佳宏  
「全員で掘んだ」ゴールド金賞」  
吹奏楽部  
今年の吹奏楽コンクール島  
根県大会は七月三十一日出  
雲市民会館で行われた。毎年  
夏休みに入ると、灼熱の音楽  
室から改善センターやラメー

ようこそ  
先輩



いけの一念

農民作家  
サンライズ農場農場主  
戸田 雅之  
(高校27期卒)

連作短編集「棚田の月」を出版

卒業以来、すでに三十年余り  
になる。学生時代は、放蕩無頼  
で碌な生徒ではなかった。物書  
きになるのだと、一途に思い込  
んでいた。それは、國學院大學  
に進学しても変わらなかった。  
二人の同級生とともに【「エクリ  
ル」と言うガリ版刷りの同人誌  
などだし、悦に入っていた。あ  
のまま都会にいれば、とつこの  
昔にこの世の人ではなくなっ  
ていただろう。家庭の事情で頓原  
今、次作を用意している所です。



部活動報告

◆体育部◆

陸上

・第59回島根陸上競技選手権大会
男子予選出場種目
1000M、2000M、4000M、予選落
女子予選出場種目
1000M、2000M、8000M、15000M
予選落
・平成17年度県高校総体陸上競技大会
男子予選
2000M 松村優大
24秒15(自己新)

15000M新 和人
4分28秒15(自己新)
渡部裕太
4分45秒75(自己新)
別木政彦
16分47秒66(自己新)
4x400MR 3分43秒22(5位)
男子決勝
50000M 別木政彦
17分04秒97(16位)
女子準決勝
1000M 岡田真那実
13秒68(5位)
2000M 岡田真那実
27秒87(自己新)(8位)
女子決勝
8000M 万場 彩
2分34秒26(8位)

15000M 万場 彩
5分08秒52(自己新)(9位)
国体予選
少年B 2000M 森 克也
23秒82(7位)
少年B 3000M 別木政彦
9分39秒48(6位)
・県新人陸上(9/17/18)
女子2000M 岡田真那実
27秒89(7位)
男子5000M 別木政彦
1年の部 16秒21(3位)
男子3000SSC 別木政彦
10分10秒27(4位)
・大東陸上(9/24/25)
高校一一般
15000M新 和人(7位)
県高校駅伝大会
2時間27分8秒

中国大会へ出場権
中国高校駅伝大会(28位)
2時間24分28秒
野球部
・春季野球大会中部地区予選
1回戦三刀屋11-3出雲商業
2回戦三刀屋9-3出雲工業
春季野球大会真大会
1回戦三刀屋4-10松江農林
準々決勝三刀屋11-10出雲
春季野球大会
準決勝三刀屋3-4立正大松南
三刀屋4-1松江商業
\*3位(山陰大会出場へ)
出雲地区野球大会
2回戦三刀屋7-2出雲
準決勝三刀屋8-16平田
決勝戦三刀屋2-17大東

男子ソフトボール部
\*準優勝
山陰野球大会
1回戦
三刀屋4-2倉吉総合産業
準決勝
三刀屋0-5立正大松南
\*3位
・全国高等学校野球大会島根大会
2回戦三刀屋8-12瀬摩
秋季野球大会1次予選
1回戦三刀屋1-2瀬摩
出雲地区1年生大会
1回戦三刀屋2-3出雲
\*4ペアが総体本戦へ出場
個人戦

中国大会出場

柔道部

今年度は、五月の中国大会に男子個人90kg級と60kg級に一名ずつ、十一月の中国新人大会は男子団体に島根の二位

中国高等学校剣道大会に出場して

剣道部

今年度の中国大会(六月実施)は、鳥取県米子市にある県立武道館で行われました。出場

選手は、二年生男子二名、二年生女子一名です。二年生ながら、三名も県予選大会を突破したことを監督として喜んでいきます。
結果は、好勝負を演じながらも惜しくも二、三回戦の敗退となりましたが、中国大会を経験できたことが、自信となり、その後の県大会や全国大会での活躍につながっています。
三月には中国新人大会(県予選二位、三位通過)があります。中国新人大会では、上位進出めざし、頑張りたいたいと思います。今後とも剣道部の応援よろしくお願いします。
顧問 小松正道

顧問 長野 博

顧問 寺岡 智弘

ルへと練習場所を移し、最後の総仕上げをしている。
今年度は課題曲にマーチ「春風」、自由曲にはコソボ内乱に直面した作曲家天野正道が、その早期終結と平和への願いを込めた曲「贖罪・エクスピエーション」を選んだ。コンクール本番で力の全てを出し切った部員たちに拍手を送りたい。
顧問 太田 知伸

として出場しました。中国新人大会は四回出場しましたが、いまだに予選リーグの壁を破ることができません。今年度は、広陵に敗れたものの予選リーグを二勝一敗と今までの中で最も健闘したと思います。
今後、中国大会・全国大会でも勝負できるチームを目指して精進したいと思います。
顧問 和田 淳

とりあえず目標は1km三分十五秒つてところか
陸上部
一区で出遅れたものの第四中継所で四位、流れに乗った。結果は四位入賞、予想以上の結果を残して県高校駅伝は終わった。入賞したことはもちろんだが、何よりも選手たち中国駅伝を経験させてやれたことが嬉しかった。確かに選手の意識は変わった。来年度の総体で、選手権で、新人戦で、個人タイトルを意識できるようになった。「来年度の県駅伝でもっと上」、私もいつの間にか恥ずかしげもなく公言している。
顧問 長野 博

選抜大会に向けて
男子ソフトボール部
昨年十一月の中国新人大会で準優勝し、三月の全国選抜大会に出場することになりました。例年に比べて実戦経験の少ないまま迎えた大会でしたが、代表決定戦ではこれまで一度も勝ったことのないチーム相手に逆転で勝利することができ、選手達の自信にもなりました。
顧問 寺岡 智弘

団体戦  
1回戦 三刀屋0-3 松江高専  
県総体  
個人戦

野津・小林ベア 2回戦敗退  
藤原・藤原ベア 2回戦敗退  
千葉・景山ベア 1回戦敗退  
岡田・妹尾ベア 1回戦敗退  
団体戦  
1回戦 三刀屋0-3 大社敗退  
ソフトテニス新人戦大会  
東部地区予選 (9/22)  
個人戦

藤原ヒ・藤原ユベア  
白石・多賀ベア 本戦出場  
ベスト32  
ベスト32 本戦出場

団体戦  
1回戦 三刀屋0-3 松江北  
団体選手権大会 (8/24)  
団体戦  
Aチーム予選トーナメント  
Hグループ  
(安来)三刀屋・平田・松江東  
Aチーム2位以下リーグ戦 (25日)  
結果 \*ベスト8  
BCDチーム決勝リーグ

1回戦 三刀屋0-2 津和野  
ソフトテニス新人戦大会(11/2)  
個人戦 6ベア2回戦敗退  
団体戦  
1回戦 三刀屋1-2 平田

女子ソフトテニス部  
県総体地区予選  
個人戦 4ベアが出場権獲得  
団体戦  
2回戦 三刀屋0-3 松江西

個人戦  
友塚・三反田組 3回戦敗退  
松林・市場組 2回戦敗退  
山根・梶尾組 1回戦敗退  
板持・朝倉組 1回戦敗退

団体戦  
1回戦  
三刀屋1-2 松江東  
県団体選手権  
AチームAチームリーグ1勝1敗  
2位以下トーナメント  
BチームBCチームリーグ2勝  
1位トーナメント 準々決勝敗退  
CチームBCチームリーグ1勝1敗  
2位以下トーナメント 準決勝敗退  
個人戦  
県新人戦予選  
個人戦  
10ベア出場中8ベア本戦へ  
友塚・谷山組 \*ベスト32  
松林・若林組 \*ベスト32

団体戦  
1回戦 三刀屋0-3 松江西  
県新人戦  
個人戦  
友塚・谷山組 松林・若林組  
3回戦敗退

団体戦  
1回戦 三刀屋3-0 益田産業  
2回戦 三刀屋0-2 松江商業

中国大会予選  
1回戦 三刀屋81-94 松江農林  
県総体  
1回戦 三刀屋79-171 安来  
2回戦 三刀屋51-101 出雲  
県選手権  
2回戦 三刀屋70-76 浜田商業  
出雲地区新人戦  
2回戦 三刀屋49-56 出雲工業  
県新人戦  
2回戦 三刀屋60-81 浜田商業

男子バスケット部  
中国大会予選  
1回戦 三刀屋81-94 松江農林  
県総体  
1回戦 三刀屋79-171 安来  
2回戦 三刀屋51-101 出雲  
県選手権  
2回戦 三刀屋70-76 浜田商業  
出雲地区新人戦  
2回戦 三刀屋49-56 出雲工業  
県新人戦  
2回戦 三刀屋60-81 浜田商業

女子バスケット部  
中国大会予選  
1回戦 三刀屋40-77 大田  
県総体  
1回戦 三刀屋59-56 益田東  
2回戦 三刀屋57-59 安来

中国大会予選  
1回戦 三刀屋2-0 松江商  
準決勝 三刀屋10-0 江津  
決勝 三刀屋2-5 出雲商

県選手権  
1回戦 三刀屋58-55 松江北  
2回戦 三刀屋61-57 益田東  
準々決勝 三刀屋52-60 大社  
\*5位  
出雲地区新人戦  
1回戦 三刀屋30-47 大社  
県新人戦  
1回戦 三刀屋53-68 松江北

男子ソフトボール部  
全国選抜大会  
1回戦 三刀屋1-4 千葉敬愛  
中国大会島根県予選  
決勝 三刀屋0-4 浜田  
\*準優勝  
中国大会  
1回戦 三刀屋0-2 御調(広島)  
県総体  
準決勝 三刀屋10-1 安来  
決勝 三刀屋4-0 浜田  
\*優勝  
全国総体  
1回戦 三刀屋1-3 南陽高校  
(京都)

県選手権  
決勝 三刀屋7-0 浜田  
\*優勝  
県新人戦  
決勝 三刀屋12-0 浜田  
\*優勝  
中国新人大会兼選抜大会予選  
準決勝 三刀屋3-0 米子松陰  
(鳥取)  
決勝 三刀屋2-3 御調(広島)  
第2代表決定戦  
三刀屋4-3 新見(岡山)  
\*全国選抜大会出場  
(本校より13名参加)  
1回戦 島根1-8 石川

女子ソフトボール部  
中国大会県予選  
2回戦 三刀屋2-0 松江商  
準決勝 三刀屋10-0 江津  
決勝 三刀屋2-5 出雲商

中国大会予選  
1回戦 三刀屋1-2 岡山東商  
県総体  
1回戦 三刀屋5-1 大東  
準決勝 三刀屋2-1 松江商  
決勝 三刀屋5-3 出雲商  
\*優勝

中国大会  
1回戦 三刀屋1-2 岡山東商  
県総体  
1回戦 三刀屋5-1 大東  
準決勝 三刀屋2-1 松江商  
決勝 三刀屋5-3 出雲商  
\*優勝

男子バレーボール部  
中国大会予選  
予選リーグ  
三刀屋0-17 25-19 25-25 情報  
三刀屋0-14 25-21 25-25 松江南  
県総体  
1回戦  
三刀屋0-23 25-14 25-25 松江北  
松江地区大会予選グループ戦  
三刀屋0-16 25-15 25-22 0 出雲  
三刀屋0-16 25-23 25-22 広島山陽  
三刀屋0-12 25-14 25-22 松江工業  
決勝グループ戦  
三刀屋0-13 25-13 25-25 横田  
三刀屋0-16 25-20 25-22 松江高専  
三刀屋0-18 25-17 25-22 江津  
県新人戦  
1回戦  
三刀屋1-25 23-19 25-12 25-25 益田  
敗者復活戦  
三刀屋1-19 25-25 9-15 25-25 松江東  
県選手権大会予選グループ戦  
三刀屋0-23 25-16 25-22 大田  
三刀屋0-15 25-19 25-22 松江商

女子バレーボール部  
中国大会予選  
予選グループ  
三刀屋2-25 8-25 9-9 隠岐水  
三刀屋2-25 16-25 12-0 出雲商  
1回戦  
三刀屋0-12 25-14 25-25 開星  
県総体  
2回戦  
三刀屋2-25 13-25 11-0 松江西  
3回戦  
三刀屋0-7 25-11 25-2 大東  
県新人戦  
予選リーグ

卓球部  
中国大会県予選  
男子団体  
三刀屋0-3 松江工業(1回戦)  
男子ダブルス(3組)  
1-2回戦敗退  
男子シングルス(6名)  
1-2回戦敗退  
県総体  
男子団体  
三刀屋0-3 松江農林(2回戦)  
男子ダブルス  
小林和・大島組 3回戦敗退  
男子シングルス(6名)  
1-2回戦敗退  
県高校新人大会  
男子団体  
1回戦 三刀屋0-3 隠岐  
男子シングルス  
大島 3回戦敗退  
他は1、2回戦敗退  
県選手権大会  
男子団体  
2回戦  
三刀屋0-3 出雲工業  
シングルス・ダブルス  
1、2回戦敗退

剣道部  
中国大会県予選  
男子団体  
2回戦 三刀屋5-10 出雲農林  
準々決勝 三刀屋1-4 大社  
\*ベスト8  
女子団体  
1回戦 三刀屋1-4 松江北  
男子個人 山根浩平ベスト16  
渡部隆太ベスト32  
女子個人 加本由紀ベスト16  
(個人戦3名・中国大会出場)

中国大会予選  
1回戦 三刀屋1-2 岡山東商  
県総体  
1回戦 三刀屋5-1 大東  
準決勝 三刀屋2-1 松江商  
決勝 三刀屋5-3 出雲商  
\*優勝

・卓球  
男子団体  
2 回戦 三刀屋3-1 0 松江工業  
準々決勝 三刀屋0-1 出雲西  
\*ベスト8  
女子団体  
1 回戦 三刀屋1-1 1 松江北  
代表戦  
準々決勝 三刀屋0-2 出雲商  
\*ベスト8  
男子個人  
内田裕人・山根浩平 \*ベスト32  
中国高校剣道大会  
女子個人試合  
1 回戦  
加本(三刀屋) 対  
加藤(廿日市西・広島)  
\*延長戦まで戦い敗退  
男子個人試合  
2 回戦  
渡部(三刀屋) 対  
加藤(岡山朝日・岡山)  
\*敗退  
2 回戦  
山根(三刀屋) コ対  
田淵(津山東・岡山)  
延長戦を戦い勝利  
3 回戦  
対 米山(銀河学院・広島)  
\*延長戦まで戦い敗退  
男子団体試合  
玉竜旗高校剣道大会  
男子団体試合  
勝ち抜き戦方式  
3 回戦  
三刀屋対久留米商業(福岡)  
大将同士  
\*勝利  
\*山根浩平5人抜き(敢闘賞)  
4 回戦  
三刀屋対西京(山口)  
大将同士と敗退  
4 回戦に勝つとベスト64であった。  
島根県武道振興大会  
高校2・3年生の部  
(男子個人試合)  
山根浩平 \*優勝

・島根県別選手権大会  
初段の部(男子個人試合)  
井谷恭平 \*3位  
二段の部(男子個人試合)  
渡部隆太 \*3位  
・県高校剣道選手権大会  
男子団体試合(勝ち抜き戦方式)  
準々決勝(大将同士)対松江北  
準決勝 対出雲西(1人残り)  
\*3位  
女子団体試合(勝ち抜き戦方式)  
1 回戦 三刀屋(2人残り)  
準々決勝 対大社(3人残り)  
\*ベスト8  
男子個人試合 \*優勝  
渡部隆太 ベスト16  
第14回三次義士祭奉納剣道大会  
男子団体戦 三刀屋A  
予選リーグ①  
三刀屋2-1 2 祇園北  
決勝リーグ①③①①日彰館  
②②①① 岡山共生  
③①①① 三次A  
④②①① 3 神辺旭  
\*準優勝  
男子団体戦 三刀屋B  
予選リーグ①  
三刀屋0-1 5 神辺旭  
予選リーグ②  
三刀屋2-1 3 近大東広島  
予選リーグ敗退  
女子団体戦 三刀屋  
予選リーグ①  
三刀屋2-1 2 祇園北  
予選リーグ②  
三刀屋0-1 4 3 次  
予選リーグ敗退  
・県高校剣道新人戦大会(12/16)  
男子団体試合  
準々決勝 三刀屋2-1 3 横田  
\*ベスト8  
女子団体試合  
2 回戦 三刀屋1-1 4 松江東  
\*ベスト8  
男子個人戦  
渡部隆太 \*準優勝

山根浩平 \*3位  
(中国新人大会出場権獲得)  
・全国高校剣道交歓大会・びわこ杯高校剣道大会 (12/24)  
男子団体試合  
1 回戦 三刀屋1-2 新潟明訓  
雲南市剣道大会 \*3位  
女子団体試合 \*3位  
女子個人試合 松崎弘恵 \*2位  
菅澤真弓 \*3位  
柔道部  
・第52回中国高校柔道大会県予選  
男子団体(1部)  
△2(内容) 2 浜田  
△(4/16) 島根県立武道館  
決勝トーナメント  
男子個人  
三刀屋2-1 3 平田  
三刀屋1-1 3 開星  
男子団体(2部)  
\*ベスト8  
決勝リーグ  
三刀屋2-1 3 平田  
男子個人  
90kg級 藤原佑祐 優勝  
66kg級 加藤祐輝 ベスト8  
入澤 光 ベスト8  
60kg級 石飛 歩 3位  
・第52回中国高校柔道大会  
(5/7) 鳥取県立武道館  
男子個人  
90kg級予選リーグ  
藤原佑祐△(優勢)○土井(禁懲)  
△(優勢)○小山(岡山東商)  
△(棄権)○山根(萩)  
60kg級予選リーグ  
石飛歩△(腕挫十字固)○飯田  
(岡山東商)

66kg級 難波辰哉 3位  
入澤 光 ベスト8  
60kg級 石飛 歩 3位  
東久保有生 ベスト8  
\*男子総合:5位  
第11回  
県ジュニア柔道体重別選手権  
(6/19) 島根県立武道館  
男子 90kg級 藤原佑祐 2位  
60kg級 須山雅之 3位  
・第37回全日本ジュニア柔道  
体重別選手権中国地区予選会  
(7/18) 高根県立武道館  
男子 90kg級  
2 回戦  
藤原佑祐△○山根(山口)  
・第38回島根県武道振興大会  
(9/4) 島根県立武道館  
高1の部 石飛修平 4位  
高2の部 藤原佑祐 2位  
平成17年度高校新人柔道大会  
(10/29)三瓶青年の家・体育館  
男子団体  
準決勝 三刀屋3-1 2 浜田  
決勝 三刀屋1-1 4 開星  
\*準優勝  
男子個人  
90kg級 藤原佑祐 1位  
73kg級 木村敦浩 ベスト8  
66kg級 難波辰哉 2位  
藤井健一 3位  
入澤 光 ベスト8  
・第6回中国高校柔道新人大会  
(11/19) 広島県立総合体育館武道場  
男子団体  
予選リーグ  
三刀屋2-1 1 東高山(岡山5位)  
三刀屋4-1 1 鳥取東(鳥取3位)  
三刀屋1-1 4 広島(広島3位)  
・第28回全国高校柔道選手権  
大会  
島根県大会 (1/13)  
県立石見武道館  
男子団体  
大将同士  
準決勝 三刀屋  
\*3位  
○益田工

男子個人(無差別)  
藤原佑祐 \*ベスト8  
金森翔士 \*ベスト8  
サッカー部  
中国選手権出雲地区予選  
三刀屋0-2 出雲工業  
三刀屋0-3 出雲農林  
県総体  
1 回戦 三刀屋0-1 江津  
島根県高校サッカー選手権大会  
出雲地区予選  
1 回戦 三刀屋0-1 1 平田  
島根県高校サッカー新人大会  
2 回戦 三刀屋0-1 5 松江東  
スキー部  
中国高等学校新人スキー大会  
小林 孟 SGL 6位入賞  
第61回国体冬季大会スキー競  
技島根県予選 兼 第47回中国  
高等学校  
スキー大会島根県予選  
2の5 小林孟 2位  
平成17年度  
島根県高等学校新人スキー大会  
2の5 小林孟(結果なし)  
・第46回中国高等学校  
スキー選手権大会  
GSL  
2の5 小林孟 26位  
SL 結果なし  
・第55回全国高等学校スキー大会  
GSL 10位  
文化部  
写真部  
・春季写真コンクール出品 33点  
特選6点  
深石 理紗、速水 麻衣  
岡 淳美、藤原 真緑  
松浦まどか、熊谷沙也香  
入選10点 須山由梨 他  
・島根県高校写真展  
第6席 速水麻衣(2年)

ESOS  
島根県高校英語セミナー  
CHESOS 2005  
2名参加

JRC部

平成17年度島根県高等学校青  
少年赤十字メンバー春季協議  
会に参加  
平成17年度島根県高等学校青  
少年赤十字メンバー秋季協議会  
10月26日  
11月13日  
募金活動  
年末義援金  
11月14日  
ブロック会  
学園祭にひとり暮らしの高齡  
者を招待

書道部

平成17年度  
高文連書道コンクール  
1年 大田佳代 佳作  
1年 小林麻里 佳作  
第38回島根県高等学校書道展  
奨励賞  
3の5 内田紗代  
入選

自然科学部

文化祭  
「ようこそシャボン玉の世界へ」  
三刀屋保育園訪問① (9/1)  
② (11/12)

文芸部  
平成17年度島根県高文連文学  
コンクール  
詩部門  
佳作  
高尾枝理 (3の1)

美術部

平成17年度高文連出雲地区絵  
画講習会 (6/25~4)  
国立公園大山周辺  
参加者 10名  
平成17年度高文連  
出雲地区絵画コンクール  
(10/25 小伊津漁港)  
入選者

第38回島根県高校美術展

絵画の部  
3の1 藤原桃子  
2の1 錦織菜々子  
1の1 河口昌子・佐藤愛華  
1の2 安部真由美  
デザインの部  
1の1 坪倉りか子  
彫刻の部  
2の1 錦織菜々子・勝部望  
1の1 河口昌子  
工芸の部  
2の1 錦織菜々子・勝部望  
1の1 河口昌子・佐藤愛華  
1の1 安部真由美  
1の2 後長のぞみ・大島綾香

吹奏楽部

平成17年度高文連出雲地区彫  
刻講習会 (2/9~10)  
県立青年の家サレレク  
参加者 9名  
吹奏楽コンクール県大会  
\*金賞

出雲地区吹奏楽祭 出場  
第46回全日本吹奏楽コンク  
ル島根県大会  
高等学校Aの部  
\*金賞  
第29回全日本アンサンブルコ  
ンテスト島根県大会  
Aの部

打楽器六重奏

\*金賞  
2の2 河角崇那  
2の3 木奈崎民子  
1の1 木下真徳  
1の2 勝部いずみ・廣田郁子  
1の4 玉木菜央子  
金管打八重奏 \*金賞  
2の2 廣田一馬  
2の4 早水 睦・須山辰也  
2の5 片寄隼人・藤原証太  
1の2 景山典英  
1の5 石田真里南・永見亜門  
木管弦五重奏 \*銀賞  
2の1 加納愛里沙・弓濱敦子  
2の2 若林明莉沙  
2の3 飯塚聡子・玉木美登里

Bの部

フルート三重奏 \*金賞  
2の1 小池礼華  
2の3 安部結菜・片山恵美  
1の1 小池礼華 \*金賞  
金管七重奏 \*金賞  
2の1 為石 望・藤原倫子  
2の4 名原 愛  
2の5 安井有輝  
1の1 岡田知之・岸 久美子  
1の4 長里晋平  
木管弦六重奏 \*金賞  
1の1 菅田有紀・布村春佳  
1の3 池田早紀  
1の4 江角美雪・大森由香  
鳥谷直美  
サクソフオン五重奏 \*銀賞  
2の1 松本有可  
2の3 藤原江里  
2の5 川上夏美  
1の1 藤原裕未  
1の3 周藤 綾  
木管三重奏 \*銀賞  
2の3 藤原恵利香

音楽関係

第44回島根県高等学校音楽コ  
ンクール  
声楽の部  
3の3 内田真紀子 \*銀賞  
2の3 玉木美登里 \*金賞  
木管楽器の部  
2の3 安部結菜 \*金賞  
2の3 藤原江里 \*金賞  
2の3 片山恵美 \*銀賞  
1の5 法橋沙織 \*銀賞  
金管楽器の部  
2の1 廣田一馬 \*金賞  
ピアノの部  
2の5 須山範子 \*銅賞  
1の3 周藤枝里 \*銅賞

箏曲部

第五回高文連日本音楽部門コ  
ンクール  
\*優秀賞 (第2位)  
演劇部  
出雲地区演劇発表会  
(9月 ラ・メール)  
\*優秀賞  
出雲地区代表として  
島根県演劇発表会  
(10月 ラ・メール)  
\*最優秀賞  
島根県代表として  
中国大会へ  
(2年連続)

中国地区演劇発表会

(11月 広島県安佐南区民  
文化センター)  
\*最優秀賞  
◆中国地区代表として

上演作品

「三月記」サンゲツキ  
作：亀尾 佳宏(顧問)  
【キャスト】  
田中：小林 真希(3年)  
山本：八木 良憲(2年)  
鈴木：岡田 真弓(3年)  
【スタッフ】  
照明：片寄乃梨子(3年)  
高尾 枝理(3年)  
音響：杉谷 咲子(3年)  
内部貴美子(2年)  
舞台：多田納波花(1年)

放送部

第36回島根県高等学校  
放送コンテスト東部地区大会  
(5/25)(安来)  
朗読 3名参加  
アナウンス 1名参加  
島根県総文祭  
放送部門  
東部地区大会  
アナウンス部門出場3名  
参加

合唱同好会

島根県高文連  
中部地区音楽発表会  
参加



歓 迎

新入会員の皆さん、支部先輩を是非お訪ね下さい。お待ちしております。

◎東京支部 幹事長 天沼 勝(昭50卒)

埼玉県行田市須加四四〇(048155712415)

◎名古屋支部 幹事長 大田和 麻生(昭43卒)

名古屋市北区駒止町二一三二(052191419792)

◎大阪支部 幹事長 奥田 鉄雄(昭31卒)

大阪市東淀川区菅原七一三(061632219391)

◎広島支部 幹事長 太田 憲二(昭55卒)

広島市西区中広町三一五(082129210323)

◎鳥取支部 幹事長 松原 憲(昭35卒)

米子市上福原五八一六(085913319465)

◎松江支部 幹事長 広野 正充(昭46卒)

松江市西川津町三二八〇一七(085213110667)

◎出雲支部 幹事長 落合 久啓(昭37卒)

出雲市大津朝倉二一一八(085312216819)

◎石見支部 幹事長 島田 昭次(昭30卒)

浜田市黒川町三七四〇一一二(085512314669)

◎大東支部 支部長 鳥谷 敬(昭24卒)

雲南市大東町山田一一〇三(085414315016)

◎加茂支部 幹事長 榎原 俊(昭19卒)

雲南市加茂町加茂中二九一一三(085414916503)

◎木次支部 幹事長 板持 達夫(昭38卒)

雲南市木次町里方八四一四二(085414211196)

◎斐伊支部 幹事長 福岡 正徳(昭42卒)

雲南市木次町山方四七(085414211358)

◎日登支部 幹事長 陶山 浩二(昭55卒)

雲南市木次町寺領九二七一(085414213337)

◎西日登支部 幹事長 金山 信夫(昭32卒)

雲南市木次町上熊谷八〇三一一五(0854142113997)

◎温泉支部 幹事長 川本 巧(昭47卒)

雲南市木次町平田六九九一一二(085414810028)

◎仁多支部 幹事長 中林 安雄(昭17卒)

仁多郡奥出雲町三成本町(085415411171)

◎三刀屋支部 幹事長 谷 茶賢(昭28卒)

雲南市三刀屋町三刀屋九一一(085414512760)

◎一宮支部 幹事長 須山 哲好(昭45卒)

雲南市三刀屋町給下九〇五一(085414513059)

◎銅山支部 幹事長 鶴亀 正義(昭42卒)

雲南市三刀屋町殿河内六九五(085414512412)

◎飯石支部 幹事長 高尾 正治(昭41卒)

雲南市三刀屋町多久和二五四一四(085414514074)

◎中野支部 幹事長 名原 哲男(昭49卒)

雲南市三刀屋町中野四一〇(085414514797)

◎掛合支部 幹事長 竹下 幸治(昭41卒)

雲南市掛合町掛合四七四一一(085416210082)

◎吉田支部 幹事長 大島 文雄(昭48卒)

雲南市吉田町深野二一一二(085417510066)

◎頓原支部 支部長 鳥屋ヶ原 孝(昭27卒)

飯石郡飯南町頓原三二七五一(085417210644)

◎頓原分校支部 幹事長 那須 繁弘(昭35卒)

飯石郡飯南町長谷一〇五五一二(085417210602)

事務局だより

この冬は年内から思いもかけない大雪に見舞われてしまいました。玄関前のゆりの木も雪をかぶり、冬空に美しい姿を見せてくれています。さて創立八十周年記念の関連行事遂行におきましては、皆様方に多大なるご協力をいただきました。六月十八日、記念式典に先立ち総合学科棟三階大講義室において雲南会総会が開催されました。そして、体育館での記念式典後会場をアスパルに移して行われました祝賀会は高校26期の皆様方のご尽力により盛会裏に終了することができました。例年と違い今回は規模が大きく、準備段階からのあらゆる面での配慮大変だったことと思えます。本当にお疲れさまでした。

この一年間の同窓会の行事

- 平成17年
  - 3月1日 雲南会入会式
  - 4月21日 (第57期卒業生) 雲南会会計監査
  - 4月24日 役員会
  - 6月11日 東京支部総会

6月18日 平成17年度雲南会総会 (三刀屋高校、高校26期担当)

7月2日 大阪支部総会

7月23日 日登支部総会

8月3日 木次支部総会

平成18年
 3月1日 雲南会入会式 (第58期卒業生)

◎「創立八十周年記念 三刀屋高等学校十年史」発行

八十周年記念事業の最後の事業として記念誌が、平成十八年一月に発刊の運びとなりました。わずかですが残部がありますので、ご希望の方がいらっしゃいましたら、雲南会事務局へお申込みください。記念誌一三千元 (085414512721)

◎最近、三刀屋高校の教職員と名乗って卒業生の住所等を聞き出そうとしたり、新名簿を作成するからと購入勧誘の文書が送りつけられたりしています。雲南会からのお知らせは必ず三刀屋高校発着の郵便でお知らせいたしますし、電話では決してお尋ねすることはありませんのでご注意ください。

平成16年度島根県立三刀屋高等学校雲南会 会計決算書

(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

(単位：円)

【収入の部】

項 目	予 算 額	決 算 額	比較増 △減	摘 要
入 会 金	3,402,000	3,365,500	△ 36,500	のべ 6,731人×500円
特 別 会 費	450,000	450,000	0	高16期、高26期、高36期
雑 収 入	100	11	△ 89	利息
合 計	3,852,100	3,815,511	△ 36,589	

【支出の部】

(単位：円)

項 目	予 算 額			決 算 額	予算残額	摘 要
	当 初	流用・充当	現 額			
総 会 費	450,000		450,000	450,000	0	高25期主催
支 部 総 会 費	300,000		300,000	210,000	90,000	大阪、東京、松江、三刀屋、木次ほか
活 動 費	350,000	△ 81,308	268,692	96,272	172,420	同窓会会報発送費等
印 刷 費	400,000		400,000	361,112	38,888	同窓会会報印刷
役 員 会 費	200,000	52,570	252,570	252,570	0	役員会等会議費
同窓会名簿作成費	800,000		800,000	800,000	0	名簿会計へ
異動職員餞別金等	30,000		30,000	3,000	27,000	餞別
慶弔見舞金	40,000		40,000	25,000	15,000	香典、弔電
体育後援会寄付金	300,000		300,000	300,000	0	体育後援会補助
通 信 費	20,000		20,000	10,110	9,890	切手、はがき代、その他送料
旅 費	750,000		750,000	660,264	89,736	支部総会出席等
事 務 費	80,000	31,718	111,718	111,718	0	事務用品
雑 費	100,000	17,307	117,307	117,307	0	新聞広告費等
予 備 費	32,100	△ 20,287	11,813	0	11,813	
合 計	3,852,100	0	3,852,100	3,397,353	454,747	

差引残高：3,815,511円 - 3,397,353円 = 418,158円・・・特別会計へ

上記監査の結果内容の正確なる事を認めます。

平成17年4月21日

監事 藤原克美 ㊤

監事 錦織達郎 ㊤

平成17年度島根県立三刀屋高等学校雲南会 会計予算書(案)

(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

(単位：円)

【収入の部】

項 目	予 算 額	前年度予算額	比較増 △減	摘 要
入 会 金	3,240,000	3,402,000	△ 162,000	540人×500円×12ヶ月
特 別 会 費	450,000	450,000	0	高17期、高27期、高37期
雑 収 入	100	100	0	利息
合 計	3,690,100	3,852,100	△ 162,000	

【支出の部】

(単位：円)

項 目	予 算 額	前年度予算額	比較増 △減	摘 要
総 会 費	450,000	450,000	0	高26期主催
支 部 総 会 費	300,000	300,000	0	大阪、東京、松江、木次、三刀屋ほか
活 動 費	230,000	350,000	△ 120,000	同窓会会報発送費等
印 刷 費	380,000	400,000	△ 20,000	同窓会会報印刷費
役 員 会 費	200,000	200,000	0	各種役員会等
同窓会名簿作成費	800,000	800,000	0	名簿会計へ
異動職員餞別金等	30,000	30,000	0	餞別等
慶弔見舞金	40,000	40,000	0	香典、弔電
体育後援会寄付金	300,000	300,000	0	体育後援会補助
通 信 費	20,000	20,000	0	郵券代ほか
旅 費	720,000	750,000	△ 30,000	総会、支部総会、会議等出席
事 務 費	80,000	80,000	0	事務費用品
雑 費	120,000	100,000	20,000	新聞広告等
予 備 費	20,100	32,100	△ 12,000	
合 計	3,690,100	3,852,100	△ 162,000	